



中高生写真生活応援マガジン

boys & girls photo magazine  
**TopEye**

No.318

2024

春号

2023年度  
👑「TopEyeフォトコンテスト」  
入賞作品発表!!



👑 **TopEye賞** 「生命」堀 陽月 [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)高校 3年]

WEB・SNS展開中。チェック&フォローお願いします 🙌

TopEyeの公式Instagramは上記のコンテストの入賞作品や取材のひとコマ、写真展案内などはりきって更新中。また、ニコイメージングジャパンの公式LINEはニコンの製品やキャンペーン、ニコンプラザなどの最新情報をお届けします。ぜひフォローしてください!



「TopEye」  
Instagram



ニコイメージングジャパン  
LINE



ニコイメージングジャパン  
「TopEye」WEBサイト

# 2023年度 TopEye フォトコンテスト



応募作品数  
1,313点

2023年度「TopEyeフォトコンテスト」審査の様子

## TopEye賞



・賞状  
・副賞：Nikon Z f 40mm f/2 (SE) レンズキット



### 「生命」堀 陽月

帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) 高校3年

鳥などを被写体とする場合、動きを捉える撮り方もありますが、この作品では静かに動きのない状態で、羽や目の色、形状などのディテールを細かく写し出しています。さらに注目したいのは、そこに差し込む光をうまく活用したこと。強い光と影が、鳥の体や模様の輪郭と異なる形を切り取り、デザイン的な美しさも生み出しています。それぞれの鳥の表情をシンプルに、ストレートに捉えた上で、力強いポートレートのような作品に仕上げました。(熊切)



堀 陽月さん  
帝塚山学院中学校高等学校 高校3年

#### 受賞のコトバをどうぞ!!

このたびは、TopEye賞に選んでいただきありがとうございます。受賞の連絡が来た時、嘘なのではないかと疑いつつ、とても嬉しく跳ねて喜びました。今回の組写真では、鳥類の羽や目の質感、自然の毛並みを通じて、この子たちが今まで生きてきた時間を写真に収めたくて撮りました。関西の動物園をまわり、止まってくれない鳥たちの一瞬を逃さないようじっくり粘って、たくさんシャッターを切りました。これからも、生き物の生命や存在を写真に残していきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

## 入選

・賞状  
・副賞：FLX TBBK FLX トートバッグ ブラック



### 「nostalgia」倉本 妃杏

群馬県立富岡実業高等学校 1年



### 「お祭り盛り上げ隊！」齋藤 飛鳥

福井県立丹生高等学校 2年  
生き活きとした顔、顔、顔。マスクで隠れていた表情がやっと見えた。そんな嬉しい気持ちになる作品です。さらに祭りのテンションで躍動感が加わり、本当にハッピーな気持ちにさせてくれました。人物の配置もうまく散りばめられており、スナップ写真の原点的表現、瞬間の表情を切り撮った作品と感じました。(熊切)

整体師である祖父の自然な表情や仕草を引き出せています。光と被写体の質感を生かしたことで、手や顔の皺が引き立ちました。そのことで、長く患者さんを癒し、時を刻んでこられたのだという「時の経過」が感じられました。2枚という少ない枚数で、想像力を刺激されます。(秋山)



### 「愛しい」加川 愛唯 島根県立平田高等学校 1年

身近にある愛おしさを感じる被写体と向き合った作品。いずれもラフな構図で撮影したことで、日常のワンシーンであるということが伝わってきます。柔らかな光のもとで、ポケ味を生かしたことにより、穏やかで柔らかな世界観を作り出しており、見慣れた物たちが輝いて見えた一瞬であることが伝わってきます。(秋山)

## 準TopEye賞



・賞状  
・副賞：Nikon Z fc 16-50 VR レンズキット

### 「灯」川崎 廉斗

和歌山県立神島高等学校 3年

訪れた場所の何を「美しい」と思うかは、人それぞれです。作者は、自分の眼差しと思いにしっかり向き合い、「美しい」と感じたものを素直に表現しています。カメラがなければ見過ごしそうなものまで一つひとつにフォーカスを当て、命の美しさを滲み出させています。場所や時間が異なる4枚のトーンや色合いを調整し、一つの作品として構成した力は見事。プリントの仕上げもていねいです。(秋山)



### 「瀬戸の夜明け」宮本 彩由奈 山口県立下松高等学校 1年

組写真は説明的になりすぎず、しかしストーリーが伝わる構成にしなければなりません。この作品は漁師の人々の生活の様々なシーンを道具や表情で淡々と捉え、余計な情報を挟まずスッキリとまとめ、静かな漁師町の空気感を感じる表現に仕上げました。海を渡る漁船のカットがアクセントとして効いています。(熊切)



### 「起点」齋 秀哉

宮城県白石工業高等学校 2年

一羽の白鳥が飛び立とうとする瞬間を捉えた作品。周りの白鳥は前ボケを生かしたことで、つられて一斉に飛び立つであろう予感を感じることが出来ます。タイトルに込められた思いが写真に集約されていること、高コントラストで仕上げたことで、羽の白さと水飛沫の様子が際立ち、被写体の存在感が高まっていることも見事です。(秋山)

# 佳作

・賞状  
・副賞：ND オリジナルノートブック  
Nikon F3デザイン (Moleskine)

## 「ウイニングロード」 堀口 璃桜

群馬県立富岡実業高等学校 2年



## 「千の風に乗って」 市川 叶夢

群馬県立富岡実業高等学校 2年



## 「Frozen」海老原 佑樹

星野高等学校(埼玉県) 2年



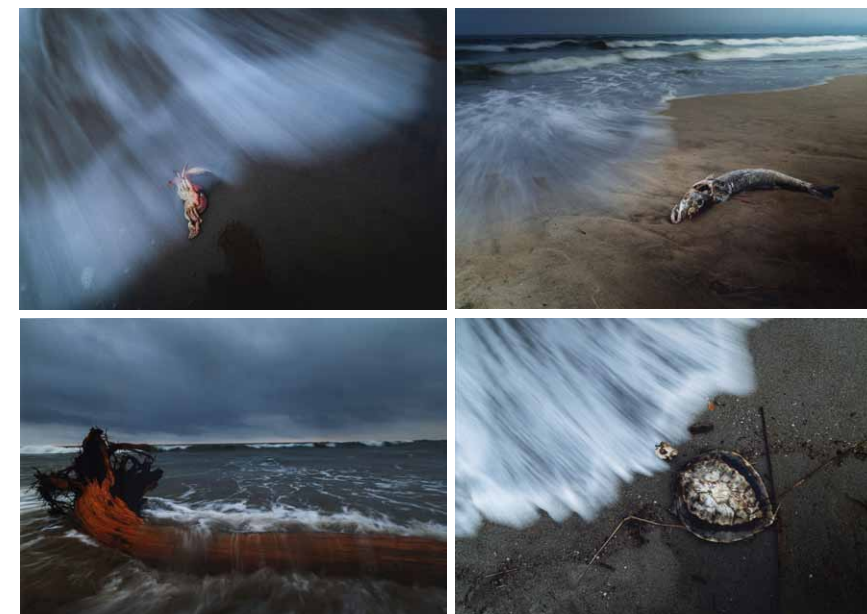
## 「祈り」岡田 莉瑠

八代白百合学園高等学校(熊本県) 1年



## 「舞」名古屋 明歩

中越高等学校(新潟県) 2年



## 「寂寞たる浜」 天野 史寛

宮城県農業高等学校 3年



## 「夢みている」森田 琉生

東京都立工芸高等学校 2年



## 「共存」今田 哲平

東京都立井草高等学校 2年



## 「放課後のひととき」門谷 舞子

中越高等学校(新潟県) 2年



## 「welcome」武元 綾花

帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校 2年

# 準 佳作

・賞状



「Landing」毛利 涼  
桜林高等学校(千葉県) 3年



「位置について、よーい!」  
松田 佳林  
茨城県立麻生高等学校 2年



「のどかなところ」生駒 咲樹  
和歌山県立神島高等学校 2年



「哀黒」小川 結衣  
和歌山県立神島高等学校 3年



「家の前で」廣島 大侍  
和歌山県立神島高等学校 3年



「仕事人」塩澤 拓海  
東京都立久留米西高等学校 3年



「これからも」前垣 七海  
八代白百合学園高等学校(熊本県) 2年



「ハム工房「あおい社」」本間 亜沙子  
東京都立久留米西高等学校 2年



「幸せな時間」河口 葉奈  
八代白百合学園高等学校(熊本県) 1年



「追いかける」野田 吹乃  
東京都立総合芸術高等学校 1年



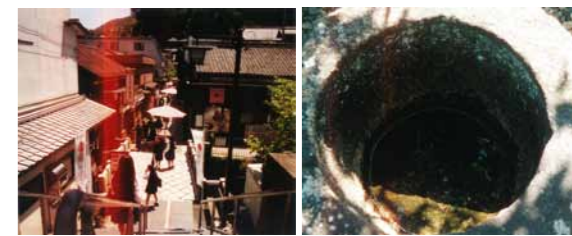
「スーパーじいちゃん」  
山本 知佳  
福井県立丹生高等学校 3年



「path of light」  
石川 一華  
熊本中央高等学校 3年



「フラッシュ」  
山下 椋市  
広島県立海田高等学校 2年



「夢の街」波田野 杏桃  
女子美術大学付属高等学校・中学校(東京都) 中学3年



「異世界ノイズ」深田 里佐  
山口県立下松高等学校 2年



「さよなら、青春」池田 遥  
関市立関商工高等学校(岐阜県) 2年



「影を写す」加藤 結  
女子美術大学付属高等学校・中学校(東京都) 中学2年



「狙うはT字」植田 優飛  
神奈川県立横浜瀬谷高等学校 2年



「同調圧力」増田 晶文  
神奈川県立横浜瀬谷高等学校 2年



「潮騒」生島 百華  
八代白百合学園高等学校(熊本県) 1年

# 2023年度TopEye フォトコンテスト総評

## テーマを「言語化」して突き詰めてみよう

初めて本コンテストの審査に臨み、作品の幅の広さに驚きました。自分の好きなものや興味を個人的に捉えており、身近にない対象に目を向けた作品や、アグレッシブな表現に挑戦した作品も数多くありました。演出などの工夫も見られ、普段から多様な作品に触れている様子がうかがえます。中には、撮影のテーマをもう少し突き詰めればさらに良くなる、と感じた作品もありました。おすすめしたいのが、まず自分の思いや撮りたいものを言語化してみる。そこから撮り方やセレクトの方向が見えることもあるので、ぜひ実践してみてください。

### 審査員 秋山 華子

大阪芸術大学写真学科卒業後、写真家・織作峰子氏に師事。ライフワークとして「普通」をテーマにスナップ撮影を行なっている。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。

## 学生ならではの多様な表現に今後も期待

審査を担当して6年目になります。同じ中高生でも、時代によって作風が変わってゆく様子を興味深く感じています。今回はコロナ後を思わせる距離感の作品が増えた一方、学生離れた重厚な作品も多く、幅広い表現に出合いました。ただ、スポーツや学園祭など学生らしいモチーフの作品や、10代の感性で作り込んで仕掛けるタイプの作品も、もっと観たい気がします。どんな時代でも、現場でどこまで考え、被写体に向き合うかが大事です。絵面の面白さだけでなく物語性を意識し、セレクト、プリントまで気を抜かず取り組んでほしいと思います。

### 審査員 熊切 大輔

東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。スナップで東京の今を撮り続けている。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。公益社団法人 日本写真家協会会長。



## 2023年度 TopEye フォトコンテスト 入賞作品展

今号で発表した入賞作品の写真展を開催します。  
全国の中高生の渾身の作品を、プリントでじっくり鑑賞しませんか？

ニコンプラザ東京 THE GALLERY

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

3月19日(火)～4月1日(月)

4月11日(木)～4月24日(水)

営業時間(両会場とも) / 10:30～18:30 (日曜休館 最終日は15:00まで)

## NEWS



「年度賞」も  
スタート

TopEye  
フォトコンテストが  
年4回に!

入賞のチャンスが大幅アップ。新人賞など、入賞枠もリニューアルの予定です。さらに、学校別の受賞実績をポイント化し、年度末に集計して表彰を行う「年度賞」もスタートします。



## 2024年度 TopEye リニューアルします!!

皆さんの写真生活をさらに強力に応援する活動を目指しパワーアップ。情報発信の機会を増やし、コンテンツの充実も進めています。

お楽しみに!

## WEBコンテンツ としても充実!

これまでPDFファイルとしてダウンロード配布してきた「TopEye」バックナンバーが、タブレットやPCの画面上でさらに読みやすくなります。さらに「TopEyeメールマガジン」も開始予定!



スマホでも

## さまざまな企画 を準備中!

取材記事や全国の皆さんとの交流など、写真でつながり学べる企画を予定しています。ご期待ください!

## 4月中旬に続報をお知らせ!

現在「TopEye」誌の配布をご希望いただいている学校に、別途詳細なご案内をお送りします。

お問い合わせはこちら

TopEye編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: [topeye@nikon.com](mailto:topeye@nikon.com)